

⑩瀬谷の長門門から宮沢神明社

2018.10.3 島田

日程: 10月3日(水) 集合 :相鉄線・三ツ境駅改札口 09:30

◆コース: 三ツ境駅—白姫神社—長屋門公園—長屋門—瀬谷貉窪公園—赤澤おとなり橋—めがね橋—六道の辻—宮沢神明社—宮沢バス停(解散・バスで三ツ境駅) 約2時間

●オプション

Aコース:宮沢バス停—関ヶ原の水辺—東山の水辺—宮沢ふれあい水辺—二つ橋の水辺—二つ橋由来の碑—最勝寺—三ツ境駅 合計 約3時間30分

Bコース:宮沢バス停—関ヶ原の水辺—東山橋—三ツ境小学バス停—三ツ境駅 合計 約3時間

Cコース:宮沢バス停—関ヶ原の水辺—中橋—原中学バス停—三ツ境駅 合計約2時間30分



駅前広場の右隅にある階段を下ります。直ぐの信号を渡ると「三ツ境駅～長屋門公園プロムナード」なのですが、今回「白姫神社」に寄るので2つ目の信号を渡り、歩道を左に歩きます。1つ目の角を右に曲がると、目的の「白姫神社」があります。



白姫神社は、阿久和養蚕組合の守り神で通称「お白様」と敬称されています。鶴見川沿いで養蚕業が盛んでしたがこの瀬谷村でも盛んだったことを証明しています。

横浜銀行、ダイエーを左に見て進むと突き当たります。「三ツ境駅～長屋門公園プロムナード」に出ました。左に進むと二差路があります。中央通商店街のアーチが掛かった道を進みます。商店街を抜けると突然道幅が広がります。その右側は阿久和川が流れている暗渠(あんきょ:地下に設けられていて外からは見えない水溝)です。そこに旧大岡家長屋門をモチーフとしたデザインマンホールプレートがあります。長屋門まで11カ所ありますので探しながら歩くのも一興です。また、プロムナードはハナミズキの並木であり、その下には赤や白の彼岸花などが道行く人の目を楽しませてくれます。



道なりに進んでゆくと「長屋門公園 530M」のポールが眼に入ります。後少しと頑張り「亜細亜食品(株)」の大きな看板を過ぎ、カボチャの垣根に驚きながら坂を上ると電柱に「せや活動ホーム太陽」の看板が目に入ります。そこを左に進むと「長屋門公園」の森に出会います。

信号を渡って「長屋門公園」の看板を左にすぐ右に入ります。そこはもう長屋門公園の中です。

長屋門公園は、古民家を中心とする「歴史体験ゾーン」と、杉林・散策路を中心とする「自然観察ゾーン」分けられています。



そこは鬱蒼とした森林で、まさに「自然観察ゾーンの入り口」と言えます。左に曲がり酔芙蓉の前を通り一般道に出たら右に曲がり再び公園内に入ります。右手のせせらぎに沿って歩きます。せせらぎは、雨水が地下にしみ込んで谷に集まり、湧き出した自然の水が流れ、かつては水田や製糸に利用されていたのですが、今は殆ど流れていません。せせらぎに沿ってモミジ、紫陽花に梅林が続きます。少し進むと一輪の彼岸花が蕾で今にも咲きそうでした。その先に水が茶色く濁った所があります。「金

気水(かなけみず)」と言って土壤に含まれる鉄分が溶出し、バクテリアの働きによって酸化されることで茶褐色の酸化鉄が生じたものだそうです。

そのまま直進し萩の花を見て一般道に出たら右に曲がると「長屋門」です。

ここは、歴史体験ゾーンです。長屋門は、旧大岡家長屋門ですが、母屋は泉区の旧安西家の物を移したそうです。その他に文庫蔵・井戸があり、全て横浜市歴史的建造物に認定されています。

門を入るとボランティアが運営する売店があり、竹細工等が販売されています。二階は当時使っていた大型そろばん、糸巻器、機織、当時の風物を描いた絵などが保管されている「工房」です。下見の時は、絵画教室が行われていました。

長屋門を入れて左手にある穀蔵は、現在は「蔵ギャラリー」として使用されています。

文庫蔵は、長屋門の右手にあり一階は農機具や扇、古い扇風機などが置かれています。二階は、一般の方の立ち入り禁止です。

正面の母屋は、様々な季節の行事や定例の行事の会場として使用され、竈(かまど)や囲炉裏(いろり)は現役で、煮炊きに、暖房に大活躍しています。奥は水屋で、キッチンとして使われていますが、一般の人は出入り出来ません。

母屋の前には井戸があり、夏の名残の朝顔が咲いていました。その左手に「水琴窟」があるます。その左手には池があり滝が流れ水車が廻り鯉が泳いで、心を静かにさせてくれます。奥に進む道は紫陽花に半夏草が生茂り初夏は美しいでしょう。その奥は、「おやし広場」で木々には巣箱が付けられています。公園の樹林には40種類に上る野鳥がやって来るそうでその鳥たちの住まいを提供しているのでしょう。

長屋門を出て、少し行くと「北井家」があります。つつじの垣根が家を取り巻いています。5月になったらきっと素晴らしい景色を見せているでしょう。角に駐車場がありますが、ここは北井家の土地で「製紙工場跡」です。少し戻って長屋門の横の坂を上ります。左手に「北井家」の墓地があります。50坪位の土地にある墓は全てが北井家に関するものでした。

そのまま進むと赤い家が見えてきます。その手前と前の家は、どちらも北井家の大邸宅です。規模で負けるが、派手さで勝とうと考えたのかもしれませんが。

十字路に出ます。そのまま直進突き当りを左へ進み「犯罪を街からなくす地域の目」の電柱を右に、坂を上ります。上がり切ったら「くぬぎの森」の左側を直進。1車線の細い道なので必ず歩道を歩いて下さい。バス通りの信号を渡り、北井クリニックの看板を右に入る。(信号を右に行くと「原中学校バス停」です。)そのまま直進、グリーンのアパートを左に進み、「月極有料駐車場」の看板を左に行くと「瀬谷貉窪公園」です。



木立や湧き水を生かした公園で、森林浴には最適です。鬱蒼たる樹林に囲まれた真ん中の道を進み、蝉の声を聞きながら公園内を散策します。とても綺麗に整備されていますので、歩きやすいです。途中におしゃれな切株や蛇の鱗のような蔭が這った杉の木などを楽しんでください。出口を右に細い道を歩き、二差路を右に、少し進み次を右に、そして階段を下りますと「赤関おとなり橋」にでます。

おとなり橋の意味は、2つあります。1つは橋の両端に付けられた金属製の円盤を回すと音が鳴るので。もう一つは阿久和東にある原小学校と、阿久和南にある阿久和小学校は隣どうしで橋を渡って遊びに行く、という意味合いが込められているそうです。

赤関おとなり橋を渡り和泉川沿いを歩きます。右手にバス停がありますが、そちらには行かず「宮前橋」を渡ります。川沿いを歩きたい人は遊歩道を、「山王橋」(めがね橋)を渡りたい人は車道を歩きます。「めがね橋」の上から左の方を見ると「宮沢遊水地跡」があります。特に目印はありませんが、芝生が広がった場所がそうです。



渡ると右手に琉球朝顔が咲いています。正面の植木がある左の坂を上って行くと「六道の辻」に出会います。



六道の辻とは仏教でいう、地獄・餓鬼・畜生・阿修羅・人間・天上への分かれ道のことです。詳細は、解説をした看板を読んでください。六道の辻を背にして真ん中の道を進みます。左右に畑があり草花も咲いています。暫くすると三角形の土地にぶつかります。道祖神に地蔵さんがいるのですが、その側はゴミだらけです。何とも悲しいものです。

道路を渡りますが、信号がありません。十分気を付けてください。そのまま直進し「神明社」の立て看板を右に曲がると「宮沢神明社」です。社殿の左には「農耕の神」三条神社と「養蚕の神」白姫神社が祀られています。

階段を下りて左に行くと三ツ境行きの宮沢バス停にでますが、階段は急なので足の悪い人などは、少し戻った場所にある女坂を利用してください。バスは、1時間に三本出ています。

◆オプション

和泉川水緑のウォークと命名されているコースを歩きます。和泉川は、瀬谷市民の森を源流として「宮沢ふれあいの水辺」、「東山の水辺」、「二ツ橋の水辺」など六つの水辺があります。ここからは、樹林とは全く違う水辺、アスファルトではなく土を踏んで川風に吹かれのんびり気持ちよく歩けるのでないでしょうか。

「Cコース」 宮沢—関ヶ原の水辺—中橋—原中学バス停—三ツ境駅……道案内 津田さん

3コースの中で最も短い距離です。和泉川の左側を歩きます。遊歩道の左は畑があり、里芋や人参などが育てられています。畑の下は、水辺委員会の人達が草刈りをしたので綺麗になっています。和泉川は土手で覆われ狭くなっていますが、川の流れが見えています。釣り人を発見、成果を聞きましたらハヤとオイカワ約10匹が戦果だったそうです。



右手に先ほど散策してきた「瀬谷貉窪公園」の樹林が見えています。「関ヶ原の水辺」の看板が見えるころから川べりは背の高い野草に覆われ水の流れが見えなくなります。命名の謂れをウォーキングしている地元の人に聞いたが誰も知りません。暫くすると「中橋」でお

しゃれな休憩所があります。ここでちょっと一休み。水分補給をして、用意してきたお弁当を食べるのも宜しいでしょう。

バス停へ:中橋を渡って直進し十字路を右に曲がり道なり進みバス通りを左に曲がるとあります。

「Bコース」宮沢—関ヶ原の水辺—東山橋—三ツ境小学バス停—三ツ境駅……道案内 渡辺さん

中橋を過ぎると景色は一変します。左側に桜並木が続くのです。春はさぞや美しいだろうと想像しながら歩いていますと「東山ふれあい橋」が右手にあります。この橋は平成9年に「てづくり郷土賞(ふるさとしょう)」を受賞しました。ここから「東山の水辺」になり右には「東山ふれあい樹林」が見えてきます。東山ふれあい樹林は、和泉川の水辺と一体となった景観で、6月~7月にはアジサイが楽しめます。程無くして左手にトイレがありますので利用してください。



その先突然のようにコスモスが現れます。オレンジから始まってピンク、白そしてオレンジ。大凡20メートル近くはあるのではないのでしょうか？コスモスの終点が「東山橋」です。

バス停:東山橋を渡り道なりに進みT字路を右へ進むとバス通り。右に出てスクランブルの真ん中を進み左側の2本目の電柱です。

「Aコース」宮沢一関ヶ原の水辺—東山の水辺—宮沢ふれあい水辺—二ツ橋の水辺—二ツ橋由来の碑—三ツ境駅 ……道案内 島田

東山橋を過ぎると川の両側は、住宅が立ち並び景色は変わります。緑道が終わったところで車道を渡り左側を歩きます。「大神橋」の左の歩道に入ります。ここから和泉川の両側は、綺麗に刈り込まれ水の流れが良く見えます。左にカーブした所から和泉川と別れ、住宅街に入ります。十字路にある「くもの巣公園」を右に曲がります。各家が育てたオレンジの木やコスモス、芙蓉などの花を見ながら直進します。細い道を入ると広場です。ここで再び和泉川に出会います。広場の階段を登り右へ。二ツ橋交差点を美容院の方に渡ったら、次に「ジェイアークプラザ」に向かって渡り、直進。大きな邸宅の前を過ぎ二ツ上橋交差点を左に渡りますと、角に「二ツ橋地名由来の碑」が建っています。



先程渡った二ツ橋交差点を戻り、進んで一つ目の信号を右に進み、切株を過ぎて左を見ると「最勝寺」です。目の前の竹林を左に行くと右に「平野家」「露木家」の墓地が。坂を下ると突き当たり、左へ歩きコスモスと酔芙蓉が咲く公園を右折。坂を上り切る手前の左に「二ツ橋明神社」があります。

二ツ橋神明社は、昔、榊の古木を御神体とし、村の鎮護を祈っていたと言い伝えられています。二ツ橋は瀬谷地区でも最も養蚕の盛んだった土地と言われています。養蚕業の発展を祈願して大正初めに奉納され、「養蚕組合」の文字が刻まれた燈籠があります。裏口を右に行きますとバス通り。左に真直ぐ進むと「三ツ境」駅です。

お疲れ様でした。